

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-147653

(P2005-147653A)

(43) 公開日 平成17年6月9日(2005.6.9)

(51) Int.Cl.⁷F 2 4 C 15/16
// A 2 1 B 3/15

F I

F 2 4 C 15/16
A 2 1 B 3/15

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2004-326298 (P2004-326298)
 (22) 出願日 平成16年11月10日 (2004.11.10)
 (31) 優先権主張番号 PD2003U000105
 (32) 優先日 平成15年11月14日 (2003.11.14)
 (33) 優先権主張国 イタリア (IT)

(71) 出願人 502394003
 ユノックス エス・ピー・エー
 UNOX S. p. A.
 イタリア国、パドバ州、35010、ビゴ
 ダルゼーレ、ピア デル アルティジアナ
 ート、28/30番
 Via dell' Artigianat
 o, 28/30 35010 VIGOD
 ARZERE (Prov. of Pado
 va) - ITALY
 (74) 代理人 100099944
 弁理士 高山 宏志
 (72) 発明者 エンリコ フランゾリン
 イタリア国、パドバ州、35010、ビゴ
 ダルゼーレ、ピア ジー・ファルコーネ、
 52番

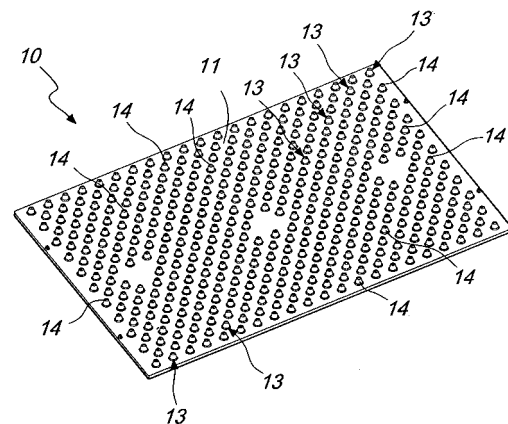
(54) 【発明の名称】 食品オープン用クッキングプレート

(57) 【要約】

【課題】 既知のクッキングプレートよりも増大した熱伝導能力を有する食品オープン用のクッキングプレートを提供する。

【解決手段】 食品オープン用のクッキングプレート (10) は、調理される食品を保持する上部保持面 (12) の下側に存在する面 (11) に、熱伝導による熱交換を増大させるための複数の突出部 (13) を有し、前記突出部 (13) は、前記上部保持面 (12) と略直交する軸の軸方向軸方向に延びた複数の鉾 (14) から構成され、前記鉾 (14) は、円錐台形状であって下へ向かって先細である。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

調理される食品を保持する上部保持面（１２）の下側に存在する面（１１）に、熱交換を増大させるのに適した複数の突出部（１３）を有する型式の、特に食品オープン用のクッキングプレートであって、

前記突出部（１３）は、前記上部保持面と略直交する軸の軸方向に延び、かつ、熱伝導による熱交換に適した複数の鋸（１４）により構成されていることを特徴とするクッキングプレート。

【請求項 2】

前記軸方向に延びた複数の鋸（１４）は、円錐台形状であって下へ向かって先細であることを特徴とする請求項 1 に記載のクッキングプレート。 10

【請求項 3】

前記複数の鋸（１４）は、平行かつ等間隔の複数の列（１５）に沿って配列されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のクッキングプレート。

【請求項 4】

前記クッキングプレートは矩形であることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のクッキングプレート。

【請求項 5】

前記鋸（１４）は、クッキングプレート（１０）と一体構造であることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載のクッキングプレート。 20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、クッキングプレートに関し、特に食品オープン用のクッキングプレートに関する。

【背景技術】

【0002】

現在知られている食品オープン用クッキングプレートは、調理する食品を保持する上面の下側に存在する面に、主に対流によって熱交換を増大させるのに適した複数の突出部材を有している。 30

【0003】

これらの突出部材は、通常フィン形状をなしており、かつ、クッキングプレートが配置された熱対流式オープンの内部に適切に設けられた加熱手段から放射された熱風流の流れのための伝達路を形成するように様々な方法で配置される。

【0004】

熱風流の通過を円滑にすることにより、前記フィン形状部材は、熱伝導式よりもむしろ対流式によるクッキングプレートと周囲との間の熱交換に特典を与える。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明のねらいは、既知のクッキングプレートよりも増大した熱伝導能力を有する食品オープン用のクッキングプレートを提供することにある。 40

【0006】

このねらいの範囲内において、本発明の目的は、既知のオープン、特に食品用オープンに容易に取り付けることができるクッキングプレートを提供することにある。

【0007】

また、本発明の他の目的は、既知のシステムおよび技術を用いて安価に製造することができる、特に食品オープン用のクッキングプレートを提供することにある。

【0008】

以下でより明確になるであろうこのねらいおよびこれら目的は、調理される食品を保持 50

する上部保持面の下側に存在する面に、熱交換を増大させるのに適した複数の突出部を有する型式の、特に食品オープン用のクッキングプレートであって、

前記突出部は、前記上部保持面と略直交する軸の軸方向に延び、かつ、熱伝導による熱交換に適した複数の鋸により構成されていることを特徴とするクッキングプレートにより達成される。

【0009】

前記軸方向に延びた複数の鋸は、円錐台形状であって下へ向かって先細であることが有利である。

【0010】

さらに、本発明の特徴および効果は、添付図面における限定されない例によって、以下の本発明の実施形態の詳細な記述から、より明らかとなろう。 10

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

図面において、本発明に係るクッキングプレートを参照符号10で示す。

以下の記述においては、例えば、下に(below)、上に(upper)、下方に(downward)等の、記載された部材の相対位置の表示は、プレートが通常に使用されるときのプレートの配置を基準とする。プレートの配置の相違により部材の相対位置が変わり得るので、このような表示は明らかに記述のみを目的とするものである。

【0012】

図2、3および5ではプレート10が逆さまに示されているが、プレート10は、図2、3および5で示される、使用時には上部保持面12よりも下側に存在する面11に複数の突出部13を有している。 20

【0013】

突出部13は、熱伝導による熱交換を増大させる。また、突出部13は、上部保持面12と略直交する軸の軸方向に延びる複数の鋸14から構成されている。

【0014】

軸方向に延びる複数の鋸14は、略円錐台形状であり、使用時において下へ向かって先細である。また、複数の鋸14は、平行かつ等間隔の複数の列15に沿って配列されており、密集して整然とした格子を形成している。

【0015】

図1および4で示す鋸14の配置は、既知のプレートのフィン状の突出部材について生じることとは異なって、複数の鋸14によって減速される熱風流の流れを許容する。 30

【0016】

プレート10の下面に最も近い熱風流の速度を遅くすることは、鋸14での熱蓄積を許容し、また、下面11の交換表面が増大することによって、鋸の熱風流からの熱吸収が増大する。

【0017】

ここで述べた実施形態においては、プレート10は長方形であり、また、そのエッジ16の下に適切に設けられた支持部材上に載せるための少なくとも2つの脚部17を有している。支持部材は、簡素化のため図示を省略する。 40

【0018】

鋸14は、プレート10の台部分と一体構造であることが有利である。プレート10は、金属部材をプレスすることによって均一に有利に得られる。

【0019】

実際に、以上説明した本発明は、特に食品オープン用に改良されたクッキングプレートの既知の型式において言及した問題を解決することがわかった。

【0020】

詳細には、本発明は、既知の型式のクッキングプレートよりも増大された熱伝導能力を有する、特に食品オープン用のクッキングプレートを提供する。

【0021】

さらに、本発明は、既知の種類オープン、特に食品オープンに容易に配置することができる、特に食品オープン用のクッキングプレートを提供する。

【0022】

さらにまた、本発明は、既知のシステムおよび技術を用いて安価に製造することができるクッキングプレートを提供する。

【0023】

このように創作された本発明は、特許請求の範囲内で、種々の変更および変型が可能であり、細部は、他の技術的に等価な構成部材と置き換えることができるものである。

【0024】

実際には、特定の用途に適合する限り、構成部材は、寸法と同様に、要求および最新技術にしたがってどのようなものであってもよい。 10

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】本発明に係るクッキングプレートの下側から取った斜視図。

【図2】本発明に係るプレートの鉸の側断面図。

【図3】本発明に係るプレートの詳細を示す側面図。

【図4】本発明に係るクッキングプレートの底面図。

【図5】本発明に係るクッキングプレートの図4のV-V線で切った断面図。

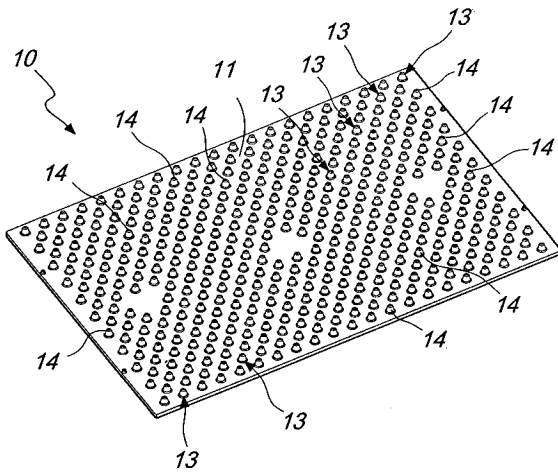
【符号の説明】

【0026】

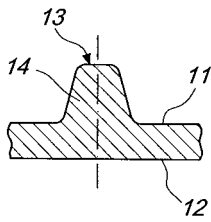
20

- 10 クッキングプレート
- 11 下面
- 12 上部保持面
- 13 突出部
- 14 鉸
- 15 列
- 16 エッジ
- 17 脚部

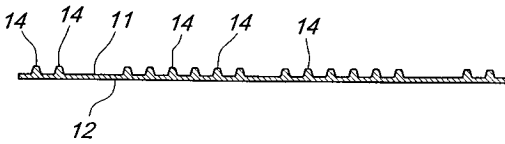
【図 1】



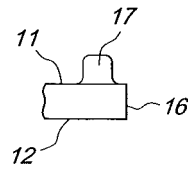
【図 2】



【図 5】



【図 3】



【図 4】

